

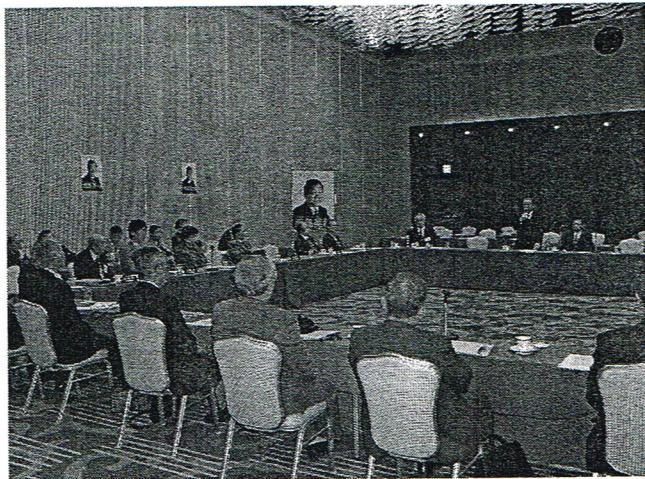
滋賀県医師連盟ニュース

平成16年1月22日発行：第3号

発 滋賀県医師連盟
行 大津市におの浜4丁目4番1号
所 TEL 077-524-1273
FAX 077-525-2650

平成15年度第3回滋賀県医師連盟代表者会を開催

○ 次期参議院議員選挙立候補予定者 日本医師連盟推薦 ○
西島英利先生を迎えて



第3回滋賀県医師連盟代表者会が平成16年1月15日（木）午後4時から、琵琶湖ホテルに於いて、50名の出席をえて開催された。河合代表者会議長の開会宣言に始まり、山敷委員長の挨拶があり、議事に先立って、懇談会が設けられた。冒頭、西島先生の激励のため急遽来県された糸氏英吉日医副会長が挨拶に立ち、出席者に今後の協力を要請された。引き続き西島英利先生が、6年間の日医常任理事としての活動と立候補表明に至った経緯や決意を述べられ、医師会員への支援と理解をお願いされた。

【山敷祐亮 滋賀県医師連盟委員長挨拶】

お忙しいなかご参集くださりありがとうございます。議事に入る前に7月の参議院選挙に向けて、日本医師会から糸氏英吉先生、西島英利先生をお迎えし、ご挨拶いただくこととなりました。財政優先の社会保障制度改革が押し進められる中、医療界も大変厳しい情況におかれています。今こそ多くの会員が医療行政に関心を持ち、医政に力を結集させることが重要になってまいります。ここにお集まりの先生方には是非ともその中心となっていただき、西島先生へのご支援はもとより、今後の連盟活動に対し、力強いご協力をお願い申し上げ、簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

それでは、日医執行部を代表して、西島先生の応援に駆けつけてくださいました、糸氏先生から、ご挨拶をお願いしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

【糸氏英吉 日本医師会副会長挨拶】

皆様明けましておめでとうございます。今日は西島英利先生へのご支援のお願いのため、日医執行部代表として一言ご挨拶させていただきたいと思います。今晚、東京での会議を控えていますので、冒頭で失礼いたしますことを、ご容赦ください。

ご周知のように、診療報酬改定の攻防があり、小泉首相がどうしても一昨年同様に診療本体部分を引き下げようと、かたくなな姿勢をとっていたのですが、何とかこれはくい止めて本体のゼロ改定で決着させることができました。これも、ご支援いただいた自民党議員のお力添えと、さらに、何よりも会員方々の強力なバックアップがあったればこそできたのだと思います。プラスマイナスゼロといえば、何も変えないのかというと、既に前回の改定にさまざまな矛盾点があったわけで、特にダメージの大きかった診療所への配慮をしなければならないと、我々は肝に銘じております。その実現に向けて執行部では努力する所存です。今年は、日医会長選挙がありますので、遅くとも2月の中旬までに、次期改定の大枠を決めるために、青柳副会長はじめ奮闘しています。

これから医療を取り巻く環境は、介護、福祉の問題を含めどれをとっても、医政との係わりなくして、我々の一存ではどうにもならないものであることはご存じのとおりです。その点において、日医も強力なテコ入れをするべく、先般日医連執行委員会で、この西島英利先生を次期参議院選挙の候補者として推薦することを決定したのです。

決定以後、100万票の大きな目標を掲げ、がんばろうと取り組んでいます。何としても、前回の武見議員の得票をはるかに越えなければ、医師会もどういう切り込みを受けるかわかりません。現執行部は全力をあげて、西島先生支援の基盤づくりに励みます。そのうえで、4月からは新リーダーにバトンタッチしたいと思います。

宮崎秀樹議員に代わり、西島英利先生を国政の場に送り出すことができますよう、是非とも、皆様の力強いご支援をお願い申し上げます。平成16年は、医療に明るい兆しが出るように先生方とともにがんばって行きたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



糸氏先生の迫力あるご挨拶を受けて、会場は大きな拍手に沸いた。

【西島英利 参議院比例代表候補予定者 決意表明】 要約

新年明けましておめでとうございます。本日はこのような席にお呼びください、大変感謝いたしております。昨年8月、日医連執行委員会にて次期参議院選に出馬せよとのご下命をいただきました。今日まで約6年間、日医常任理事として、さまざまな医療政策の決定過程や法律の改正に関わってきました。一つの法律が変わることとは、大変大きな影響を生み、一度決まれば10年20年と変わらないのです。その中で、医療というものがまさに政治によって動かされていくことを、ゆえに我々の責任が大きいのだということを、痛感してきました。

平成13年の夏、参議院選挙があり、日医では武見敬三議員を前面に押し立て、被用者3割負担反対、老人医療費伸び率管理制度の反対を訴えました。選挙の結果、武見議員の得票は22万7千票に止まり、私たちはその後も国会議員に、連日連夜レクチャーしましたが、3割負担の法案が成立しました。そして、年末には診療報酬マイナス2.7%改定となり、選挙の票がいかに影響するかが、形として現れたことに大変悔しい思いをいたしました。しかし、老人医療費伸び率管理制度は、何としても阻止しようと、全力で国会議員に働きかけ、廃案にさせることができました。

この伸び率管理制度は、国が定めた医療費の上限を越えた分を、2年後に全医療機関に均等に振り分けて返還させるというものです。この制度を導入したのがイギリスのサッチャー政権です。その結果、イギリスでは、医療機関の倒産が相次ぎ、優秀な医師が国外に去り、必要な医療を受けることができない国民の不満が高まって政権の交代につながりました。次のブレア首相は医療制度立て直しをしていますが、一度壊れた制度はなかなか元には戻りません。

もう一つの問題は、株式会社の医療への参入と混合診療の導入です。株式会社が病院に参入して医療の質が良くなるのでしょうか。実際アメリカでは株式会社の病院は、非営利の病院に比べて死亡率が高いのです。コスト優先のため看護師が減らされ、医療の質が下がっているからです。

混合診療についても、先生方にも、必要な医療を受けられるなら良いではないかとのご意見もありましょう。しかし、そこに仕掛けがあり、公的保険の守備範囲を縮小し、それ以外の部分を自由診療として民間保険の対象にしようとするものです。これでは、豊富な現金を持たなければ、高度な医療を受けることができなくなり、国民皆保険制度の崩壊につながりかねません。このような制度による経済の活性化を望む一部の財務省の目論見には断固として反対しなければなりません。

国民の一番の関心事は健康であり、すなわち医療であります。一枚の保険証でいつでも、どこでも医療を受けることができるから安心なのです。この制度を死守しようとする我々の主張を国会議員に理解してもらうためには、同じ国会という土俵で議論を挑むという意味で、出馬を決意しました。100万票の大きな目標を掲げ日々全国を奔走しておりますが、まだまだ名前と顔が売れておりません。どうぞ、皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、決意表明ご挨拶とさせていただきます。

この後、西島英利先生は、県医師会新春懇談会にも出席。

小西おさむ衆議院議員、山下英利参議院議員とともに、固い握手を交わされた。

山下議員からは、「参議院でともにがんばりましょう。」と激励の言葉。

会場からは盛大な拍手が！！

【平成15年度第3回滋賀県医師連盟代表者会 報告】

1.議事

第1号議案 平成14年度事業報告の承認について

第2号議案 平成14年度歳入歳出決算の承認について

採決の結果、承認

第3号議案 平成16年度事業計画ならびに歳入歳出予算（案）について

採決の結果、承認

2.協議

大津市長選挙立候補予定者 木津 稔氏の推薦について

委員長説明

滋賀県医師連盟に対し、木津 稔氏からの推薦依頼あり
医師連盟規約に基づき、会員の行政への進出活動を支援するべき

採決の結果

大津市長選挙にあたり適任者として、木津 稔氏の推薦を決定

☆☆☆ 滋賀県医師連盟からのお知らせ ☆☆☆

挑む医師
西島英利ポスター（室内用）掲示にご協力を！！

西島英利後援会へのご入会もかさねてお願い申し上げます。

※お問い合わせは滋賀県医師連盟事務局まで TEL 077-524-1273

昨年12月医師連盟ニュース第2号にてお知らせいたしました、連盟会費につきまして、再度ご協力依頼を申し上げます。

平成15年度滋賀県医師連盟会費

A会員20,000円 B会員5,000円

専用振込用紙または、口座引落にて承りますので、上記事務局までお申し出ください。